



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報

No.145 2011年10月3日

支部長

お彼岸も過ぎ、すっかり秋の気配です。自然災害に見舞われている日本列島ですが、お変わりございませんでしょうか。

会報 145 号(2011年10月号)をお届けします。

今会報は

- 1 サーバス九州秋例会案内(宮崎:11月19・20日)
- 2 サーバス旅行報告(Y会員) / 「サーバストラベラー初体験」)
- 3 会員情報(新入会員紹介)
- 4 サーバス日本からの連絡(日本サーバス会長メール・「被災者支援プロジェクト」)

を掲載しています。

尚、秋例会案内は同文書を郵送でも発送いたします。住所の確認、被災者支援および会費納入用振込用紙やはがきの同封があるためです。はがきでは①ホストリスト記載状況の変更の有無、②トラベラー受け入れ、および旅行の報告をお願いしています。お返事はメールでも同封はがきでも、宮崎例会でお会いしたときでも構いませんが、返信方、どうぞよろしく願いいたします。(尚、はがきでの報告の際は50円切手を貼付していただくようお願いいたします)

1. 秋例会(宮崎)のご案内

サーバス宮崎例会のご案内

宮崎例会を本年11月に開催します。10月1日に宮崎地区会員の打合せ会を行い、詳細を下記のとおり決定しました。ご案内申し上げますとともに、多数のサーバス会員の参加を心よりお待ちしております。

- 1 期 日 2011年11月19日(土)～20日(日)
※19日(土)はホテルに14時集合
- 2 場 所 ニューウエルシティ宮崎(TEL 0985-23-3311)
(宿泊) ●宮崎市宮崎駅東1丁目2番地8(宮崎駅東口から徒歩約1分)
●ホームページ <http://www.nwc-miyazaki.co.jp>
- 3 宿泊費 約8,000円(部屋代・夕食・朝食)、宿泊人数により変動します
※ 宿泊は21人分押さえています。
※ 飲み代は別
※ 駐車料金は無料
- 4 日 程 19日(土)「フローランテ宮崎」にご案内します。広い敷地に約30,000株の草花と芝生が植栽された、ゆったりとしたガーデンです。和風庭園、英国

庭園もあります。ホテルから約20分です。入場料金300円。

20日(日)9時にホテル出発。車に分乗して青島、鶴戸神宮(波で浸食された洞窟の中にある神社、運玉を投げて運勢を予測)。昼食を「えぷろん亭」でとります(一段小高い所にあり太平洋を眺望できるレストランです)。

5 参加申し込み(連絡先)

以下に直接お申し込みください。

※ 宮崎への交通手段(自家用車、電車、航空機)も併せてお知らせください。

6 申込締切 10月20日(木)

ダンロップゴルフトーナメントが例年この時期に開催され、宿泊者が宮崎市に集中しますので、ホテルとの関係で早めの締め切りになります。

2. 「サーバス旅行」報告

サーバストラベラー初体験

長崎 K. Y

9月10日~22日まで会員のOさんと2人でオーストラリアのタスマニア島に行ってきました。目的はタスマニアのウォーキングとサーバス宅訪問。

航空券の手配・ホテルやレンタカーの予約・サーバス-hostへの連絡などすべて彼女に任せ、私はタスマニア島でのレンタカーの運転を無事にこなすことだけを考え、タスマニアの交通規則をネットで調べ頭に入れることだけの準備で出かけました。

(日程の部分はOさんの記録です)

1日目:福岡空港午前11時35分発バンコク行きに搭乗。到着14:55分(時差2時間)。バンコクでは8時間の待ち時間があり、トランジット対象者の格安市内ツアー(私たちはタイの古都公園を選択)に出かけ、旅のウォーミングアップ。

2日目:メルボルンに昼過ぎに到着。そのまま国内線に乗り換えてタスマニアのホバートへ。空港で予約済みのレンタカーを借りた後、host宅に電話。ご主人が車で会いに来てくださったので、その後をついてドライブ。無事host宅へ。居間の大きな窓からは夜間照明されたタスマニアブリッジの全景が見えるというモンタギューベイの最高の景勝地。

3日目:この日は居間の窓からきれいに見えていたウエリントン山に車で行き、その後はタスマニアと言えばタスマニアデビルという返事が返ってくるほどの超有名野生動物に会いにwild lifeセンターへ。しっかり元気なタスマニアデビルやコアラ、ウオムバット、ハリモグラに会ってきました。

4日目:次の日はフィレシネ国立公園に向けて出発。この日はロッジ泊。海岸線を走っていたら岩の朱色が目立ちました。何だろうと思ってロッジで尋ねたらライケン(地衣類)でした。

5日目:夜明け前に車を走らせワイングラスベイに朝日が射すところを見ようと灯台に。朝食後はこの旅の一番の目的であったクレイドル山をめざしてドライブ。途中、絵のような景色がいくつも出現して、思わず寄り道をしていたら日ぐれてクレイドル国立公園内の宿舎に到着。「夜は夜行性動物が出てくるので運転しない方がいいですよ」とアドバイスを受けていたので、日没前の到着をめざしていたのですが暗くなってしまいました。夜の慣れない山道ドライブは怖いです。

6日目:クレイドル国立公園はトレッキングの名所。いくつもトラックが用意されています。私

たちもトレッキングスタイルで出発。途中風が強く雪も降ってきたので、クレイドルの山頂登山はギブアップ。マリオン山頂とダブ湖一周で我慢しました。

7日目：タスマニア北部のポートソレルにある2軒目のサーバス宅へ。retired farmer のジェフとバーバラ。ここも、国立公園である海と海岸をしっかりと堪能できるように設計された居間があり、入室と同時に思わず感動の声を上げてしまいました。このオーシャンビューでお食事は格別です。翌朝は潮が引いたので、向かいの島までホストと愛犬の犬2匹と一緒にビーチを歩きました。どこまでも続くビーチです。昔はペンギンがきていたそうですが今はいませんでした。

8日目：ロンセストンへ。ハイウエーからちょっとはずれたタマバレーと呼ばれる美しい田舎道をドライブ。ロンセストンでは有名なカタラクト渓谷へ。市街地のすぐ近くにこのような渓谷があるのに驚かされました。渓谷沿いの道は市民のウォーキングやジョギングコース。

訪問した3軒目のサーバス宅は一人暮らしのご年配のご婦人・シェイラ。何かと世話を焼いていただきました。裏庭のヘーゼルナッツの木や食卓から見えたりキッドアンバーの木もとても印象に残りました。

9日目：ロンセストン周辺をドライブして日曜マーケットに出かけたり、大富豪の屋敷跡を見学したり、再度カタラクト渓谷を歩いたりしたら、すぐに1日が過ぎ、慌てて店の閉まった商店街を急ぎ足で歩いてみました。古い由緒ありげな建物がたくさんあり興味がもてました。

10日目：タマバレー沿いのウエットランドへ。干潟には野生の黒鳥がたくさん。木道を散策後はロンセストン空港からメルボルンへ。この日は荷物の整えがあるので、ホテルへ直行。ホテルでゆっくりしました。

11日目：午前中、荷物をホテルに預け、メルボルン市内を見物。メルボルンで感心したのはツリーリスト用に市内を循環する無料のred bus が運行されていること。地図を見ながら一周すれば街の概要がつかめ、動きやすくなります。4軒目のサーバスホスト・ナンシーは市の成人教育関係従事者だった方。伝統的なタスマニア料理を準備してくれてとても会話が弾みました。

これで今回のタスマニア・メルボルン訪問が終わった。帰りもバンコック経由で福岡へ。全て順調でした。九州より大きいタスマニアです。変化に富んでいました。(O記)

(Yさん、つづき)

ホバートのホストは敬虔なクリスチャンのようで、夕食の前にはお祈りをしました。私たちは毎回「いただきます」と言って食事にかかりました。この言葉は日本独特のもので、その意味を説明する必要ありと、Oさんはこれは仏教用語で動植物の命をいただくということだとももちろん英語で説明しました。すると相手は仏教徒かと尋ねてきます。日本人の宗教観を説明するのは難しいものですが、彼女は上手く答えていました。その他震災のことや原発事故のことも話題になり、旅行会話くらいしかできない私にとっては内容を聞き取るのに精一杯で会話に加わる余裕などまったくありませんでした。

今回の旅で4軒のサーバスホスト宅にお世話になりましたが、Oさんは一人で相手をしなければならず大変だったのだろうと思います。サーバスの重要な目的である国際交流を進めるためには、私にとってはかなりの準備が要ると感じました。ホストリストから知り得た情報をもとにどんな質問をするのか、自分についてはどんな話をするのかなどあらかじめ考えておかなければならないと思いました。お土産に郷土の絵葉書を持って行きました。原爆投下後の「あの日の長崎」と観光地を紹介した「長崎から」の2組ずつです。それらを詳しく説明できるようにしておけば長崎からのメッセージをもっと伝えられたのではないかと思います。

初めてのサーバストラベラーで、Oさんに頼り切りでしたが、いろいろ学ぶことが多い旅でした。彼女は名刺代わりに古切手を貼った手作りのしおりをたくさん持って行って、ホストにはもちろん、ちょっと関わりを持った人にあげていました。裏にはサーバスの宣伝が印刷されていてグッドアイデアと思いました。またカンヴァセーションツールとしてのおみやげの選び方にも感心しました。

観光パンフレットを用意してくれていたホストもあり、トラベラーの迎え方もいろいろ参考になりました。10月にはパリからのトラベラーを迎えますので、早速地元の観光案内所に行って英語と韓国語の市内案内のパンフレットをもらってきました。11月は韓国にサーバス旅行です。

夫と二人ですので頼る人がいません。今回の反省を生かせるよう、準備にかかろうと思います。

3. 会員情報

長崎のKさんがサーバスの会員になってくださいましたのでご紹介します。
Kさんは大分の例会に参加してくださっていた方です。一軒あいているお家があるそうで、そこを自由に使っていただいたらと言ってくださっています。諫早温泉もすぐ近くですし、雲仙・熊本等への通り道でもあります。サーバスからお尋ねがあったときにはぜひ、お勧めください。

九州支部会員数 57名(2011年9月末現在)
内訳:福岡10、佐賀4、長崎7、大分15、熊本6、宮崎14、鹿児島1、沖縄0

4. 日本サーバスから

役員メールで受けたメールの内みなさんにお知らせした方がいいと思われる2通をここに貼り付けます。

1 日本サーバス被災者支援プロジェクトについて

前回、日本サーバス会長の被災者支援要請についてのメールをお届けしましたが、その件に関するさらなる情報です。会長が役員宛に出されたメールです。

「日本サーバス役員の方さま

震災後6か月が過ぎて、『日本サーバス被災者救援プロジェクト』はようやく第1回目の送金を実施しました。ご寄付いただいた皆様に感謝します。

もちろん、この間もTさんの活動は継続しています。最近の報告では、冬物衣料などを除けば支援物資の収集蓄積は十分のようであり、イベントの主催共催など文化面・精神面の活動への展開がはかられているようです。インフラの回復整備は行政当局に俟つかありませんが、行政の目の届かないところや、網の目からこぼれたところなどにNGO、NPOの活動が期待されますし、さらに崩壊したコミュニティーの再生を目指して人間のきずなを強化するような、物質面を超えたレベルで貢献ができれば素晴らしいと思います。

ただし、何をするにも先立つものが要る現代、皆さまには今後も「プロジェクト」への支援の継続をお願いするとともに、Tさんには「プロジェクト」からの支援の限界も考慮してご活躍くださるようお願いいたします。」

前回、Oは九州支部長記として次のように書きました。

＜上記の宛名の記された送金用紙を送付するのに4000円余かかりますので、経費節減のためメールで会報を受信されている皆さんには用紙は別の郵送機会に送付させてください。お手数ですが郵便局で青い振込用紙を入手し、以下のサンプルのように書き込んで送金していただければ幸いです。尚、九州支部としては4月に支部会議決定として会計から東北支部には義援金を送金していますが、それとは別の個人としての支援になると思います。いずれにせよ息の長い支援が必要だと思えます。よろしく願いいたします。＞

今回別便で宮崎例会案内をお送りしますので、それに前回同封しなかった口座振り込み用紙をメールでお届けしている皆様に同封いたします。よろしく願いいたします。

2 トラブル

インド訪問の日本人トラベラーに対して受け入れ先からちょっとした苦情があったそうです。サーバス旅行をするときに気をつけなければならない点だと思いますので、近畿支部長の許可を得て以下に貼り付けます。

「・・・この方は新しい会員で、入会してあまり日が経っていない時にインドへのサーバス旅行を希望されました。どうしたものかと思いましたが、彼女は学校の先生で、夏休みしか長い旅行日程がとれない事、又、学校の先生だからそんなに非常識な事はされないだろうと思い、L O Iを発行しました。しかし、そのようにはならずでした。インドは住宅事情が良く整っていないので、彼女から連絡があったホストは知人を当たってくれたり、色々してくれたのですが、それに対して彼女からはなかなか連絡が無く、支部長の私にインドのホストから連絡がありました。結果的には、彼女はその方にお世話になられたのですが、帰ってからのお礼のメールも **Thank you very much,,,,,**の愛想もないものでした。インドのホストには彼女の態度について詫び、このような事が起こらないように、彼女と話す約束しました。彼女も通り一遍のお礼状でしたが、出したので、インドの方は、それ以上は何も言われず、インドでは、サーバスゲストは神様のように大切に思って受け入れる、来られる方もそのような気持ちで来て欲しいと言われました。誠に当然のお申し出で、とても良い方でした。彼女とは話をして、反省して頂いて、この事を教訓として良きメンバーになって欲しかったのですが、今年限りで会員を辞めるという事になりました。それもいたし方ないかと思っています。近畿支部では、この件を例会で話し、それ以後はサーバス旅行に行かれるまでには必ず例会に出席し、サーバスがどのようなものであるかをつかんで頂くという事に決めました。以上、報告します」近畿支部長

発行日:2011年10月3日 (145号)

発行者:サーバス九州支部長

【会費、認定料等の送金はこちらにお願いします】

・<郵貯口座からだ送金無料 >

記号:17240 番号:17160361

名称:サーバス九州事務局

・<他銀行から>

店名:七二八 (ナニハチ)

店番:728 種類:普通

番号:1716036 (有料)(これには末尾1不要)